

# 令和7年度 認定介護福祉士養成研修 I類後期6科目 開催要綱

## 1 目的

認定介護福祉士は、介護福祉士の資格取得後も継続的な教育機会を提供し、資質の向上を図り、社会的な要請に応じていくことを目的につくられた、介護福祉士のための仕組みです。

認定介護福祉士は、住居・施設系サービスを問わず多様な利用者・生活環境、サービス提供形態等に対応して、より質の高い介護実践や介護サービスマネジメント、介護と医療の連携強化、地域包括ケア等に対応するための考え方や知識、技術等を認定介護福祉士養成研修で習得します。利用者、職場、他専門職、地域などに幅広く「かかわる」「支援する」使命を担える介護福祉士を養成するため「一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構」認証事業として開催します。

2 実施主体：一般社団法人愛知県介護福祉士会

3 会場：同朋大学または桜華会館（名古屋市中区三の丸一丁目7番地2号）

4 受講対象者：介護福祉士資格取得後5年勤務に従事した経験を有し、ファーストステップ

研修修了者、または現任研修100時間以上の受講歴（ただし、レポート課題有）がある者 注1

5 定員：30人（受講者決定には、過去の研修履歴を優先させることがあります。）

6 受講料：1科目ごと支払いの場合 下記の図参照 会員と非会員で受講料が違います（入会申込で会員扱い可能）

6科目一括支払い受講料の場合 令和7年度I類前期 6科目 128,000円（非会員256,000円）13単位（16日間）

※一括支払い特典：毎回、上記の受講料を年度一括支払いの場合、3,000円分の研修クーポンをプレゼント

※8年度の開講予定科目、料金表は、後日ご案内します。



【令和7年度：I類後期（6科目） 科目別 受講料】 テキスト代・teams使用料別

科目（講義日数）		会員・ 賛助会員	非会員
5月10日（土）、5月24日（土）	1 心理的支援の知識・技術（2日）2単位	18,000円	36,000円
6月7日（土）、6月21日（土）	2 地域生活の継続と家族支援（2日）2単位	18,000円	36,000円
7月6日（日）、7月20日（日）	3 認知症のある人への生活支援・連携（2日）2単位	18,000円	36,000円
8月上旬、8月下旬、9月上旬、9月下旬の土日で調整中	4 認定介護福祉士としての介護実践の視点（4日）2単位	36,000円	72,000円
10月中旬、11月中旬、11月下旬、12月上旬の土日で調整中	5 個別介護計画作成と記録の演習（4日）2単位	36,000円	72,000円
12月中旬、令和8年1月下旬の土日で調整中	6 自職場事例を用いた演習（2日）1単位	18,000円	36,000円

※上記の表は、1科目ごとの支払いの場合、会員1日9,000円。非会員は、会員の2倍の費用。

正会員として入会しての受講がお得です！！

8 受講申込：別紙申込書に記入の上、FAX（052-802-8280）にてお送り下さい。その際、申込書に不備がないように、よろしく願い申し上げます。teamsの登録に関する連絡の為、メールアドレスの登録が必要です。

9 申込締切：令和7年4月13日（日） ただし定員になり次第締め切りさせていただきます。

**お問合せ** ★メールにて受付ます。下記メールアドレスまたは、QRコードよりお問合せください。

一般社団法人愛知県介護福祉士会 事務局

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目7番2号 桜華会館 南館

TEL (052) 202-8260 Fax(052)202-8280 Mail [aichikaigo123@gmail.com](mailto:aichikaigo123@gmail.com)



# 認定介護福祉士養成研修 全体像 主催：愛知県介護福祉士会

愛知県介護福祉士会では、令和5年度1月20日より本研修を開講し、4年間でI類とII類の全科目修了を目指します。

表1 認定介護福祉士養成研修 I類カリキュラム  
領域・科目・時間数 (計:345時間)

履修科目 領域	科目	時間数
認定介護福祉士養成研修導入	認定介護福祉士概論	15
医療に関する領域	疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I	30
	疾患・障害等のある人への生活支援・連携 II	30
リハビリテーションに関する領域	生活支援のための運動学	10
	生活支援のためのリハビリテーションの知識	20
	自立に向けた生活をするための支援の実践	30
福祉用具と住環境に関する領域	福祉用具と住環境	30
認知症に関する領域	認知症のある人への生活支援・連携	30
心理・社会的支援の領域	心理的支援の知識技術	30
	地域生活の継続と家族支援	30
生活支援・介護過程に関する領域	認定介護福祉士としての介護実践の視点	30
	個別介護計画作成と記録の演習	30
	自職場事例を用いた演習	30

表2 認定介護福祉士養成研修 II類カリキュラム  
領域・科目・時間数(計:255時間)

履修科目 領域	科目	時間数
医療に関する領域	疾患・障害等のある人への生活支援・連携 III	30
心理・社会的支援の領域	地域に対するプログラムの企画	30
マネジメントに関する領域	介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理	15
	チームマネジメント	30
	介護業務の標準化と質の管理	30
	法令理解と組織運営	15
	介護分野の人材育成と学習支援	15
自立に向けた介護実践の指導領域	応用的生活支援の展開と指導	60
	地域における介護実践の展開	30

表1、表2のカリキュラムについて、詳細は、右記のQRコードを使用し、カリキュラム内容、受講料などご確認よろしくお願ひ致します。



認定介護福祉士・認証機構

愛知県介護福祉士会

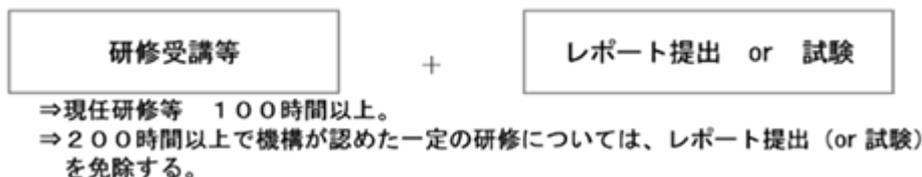
**※ I類・II類の全科目について、レポート又は試験があります。不合格の場合、追試費用が必要となります。**

○認定介護福祉士は、I類(345時間)とII類(255時間)、合計600時間の研修を全て修了する必要があります。

＜認定介護福祉士養成研修 I類の受講要件＞

- ① 介護福祉士としての実務経験(5年以上)ただし、科目によっては実務経験を問わない場合がある。
- ② 現任研修受講による内省や学習習慣の獲得。実務と現任研修への受講経験をつうじて、的確な判断や対人理解に基づいた尊厳を支える。ケアについて、常に考え内省する習慣、学習する習慣を獲得している。

研修受講歴とレポートの提出によって研修実施機関が確認する(基本は、ファーストステップ研修修了者)。注1



- ③介護職の小チーム(ユニット等、5~10名の介護職によるサービス提供チーム)のリーダー(ユニットリーダー、サービス提供責任者等)としての実務経験を有することが望ましい。

＜認定介護福祉士養成研修 II類の受講要件＞ I類を修了者のみ、II類を受講できる仕組みです。

- ① 認定介護福祉士養成研修 I類を修了(I類・II類の各科目は、内容によって段階的に修了する要件があります)。
- ② 介護職の小チーム(ユニット等、5~10名の介護職によるサービス提供チーム)のリーダー(ユニットリーダー、サービス提供責任者等)としての実務経験を有すること。
- ③ 居宅、居住(施設)系サービス双方での生活支援の経験をもつことが望ましい。